

コピキタタウン構想推進事業

事業テーマ：広域医療連携

「在宅医療を支える医療・介護包括情報共有ネットワークシステムの構築・運用事業」

山形県鶴岡市(実施団体：一般社団法人鶴岡地区医師会)(実施エリア：鶴岡地区)

山形県の鶴岡地区では医師会を中心としたICTの活用が進んでおり、2001年から病診連携を目的としたWeb型地域電子カルテシステム「Net4U」の運用を開始し、医療介護施設間で患者情報の共有基盤として普及してきた。本事業は「Net4U」にWeb会議システムを組み合わせることで当地区独自の医療連携をさらに推し進めるとともに、「Net4U」の薬業連携・医療介護連携の機能強化、在宅高齢者の見守り情報やWeb型連絡ノートといったスマートフォンでも使える情報共有機能の追加、並びにシステムのオープンソース化を行うものである。

事業化の背景

- 山形県鶴岡地区では、地域医療において限られた医療資源を有効に活用した医療・介護の協働体制の構築を行う必要があった。
 - 鶴岡地区医師会がカバーする二次医療圏(人口約15万人)は、市立荘内病院を中核として約100の医療機関が担う
 - また、鶴岡地区医師会は回復期病院、健診・検査センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を運営
- そのためには医療機関・訪問看護ステーション・介護施設・薬局等、施設・職種の垣根を越えた連携が不可欠であり、医師会が中心となって多施設・多職種間での患者情報の共有と相互コミュニケーションを可能とするシステムの構築に取り組み、2001年に「Net4U」の運用を開始した。
 - 当時は、INS64回線を使ったイントラネットの環境下で運用
- 医療環境が当初想定した以上に、病院を中心とした病診連携モデルから、在宅の高齢者を対象とした多職種連携モデルにシフトしており医療と介護の多職種協働体制をサポートする機能を強化する必要性が生じ、医療と介護を繋ぐヘルスケアのソーシャルネットワークとして全面改訂を行った。

事業内容

地域医療の更なる効率化と質の向上を目指し14年以上にわたり運用している「Net4U」は、在宅主治医、病院専門医、ケアマネジャー、訪問看護師、調剤薬局薬剤師等の計95機関(総登録数40,916名)で導入され、地域内における治療・ケアの実践を支援するICTツールとして広く知られた存在になっている。

今回の新たな機能強化によって、地域内の複数の施設で患者の医療や介護の情報を共有し、医療者、介護者が双方向にコミュニケーションをとることが可能なヘルスケアSNSとして、特にがん患者の在宅終末期医療における、在宅主治医、訪問看護師、薬剤師、病院主治医、緩和ケア専門チーム、リハビリスタッフに活用されている。

■ システムの特徴

1. Web型地域電子カルテ「Net4U」

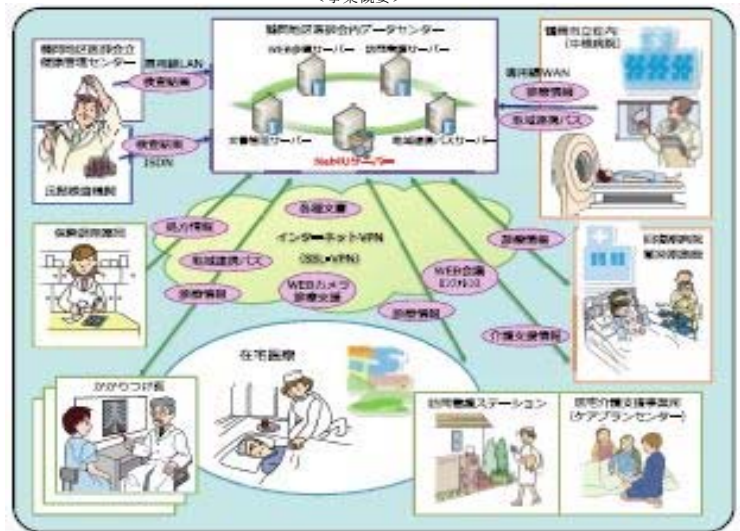
- ・診療情報の入力と保管
診断名、所見、処方、検査結果、PDF等各種電子ファイル、画像ファイル、見守り情報、バイタル情報
- ・各種文書テンプレート の作成機能
主治医意見書、訪問看護指示書、介護・薬局関連文書
- ・医療・介護者メッセージ機能

2. Web会議システム

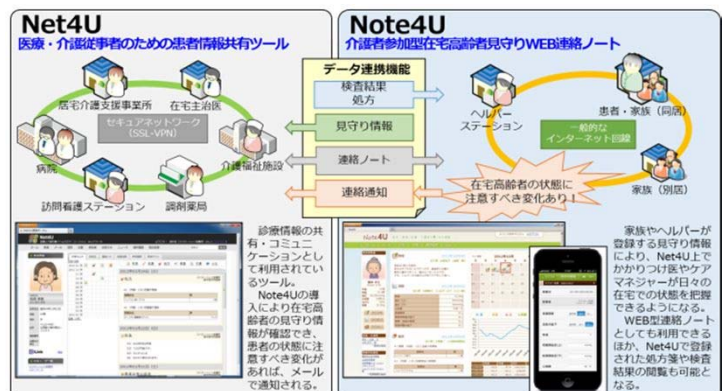
患者を支える地域の医療・介護関係者が、必要な時に必要なカンファランスを行う。

3. 携帯型情報端末

在宅ケアを行うに際して、Webカメラで現場の状況を伝達できることで、医師等から、迅速な対応指示等を受けることができる。



<Net4Uの機能概要>



導入費用

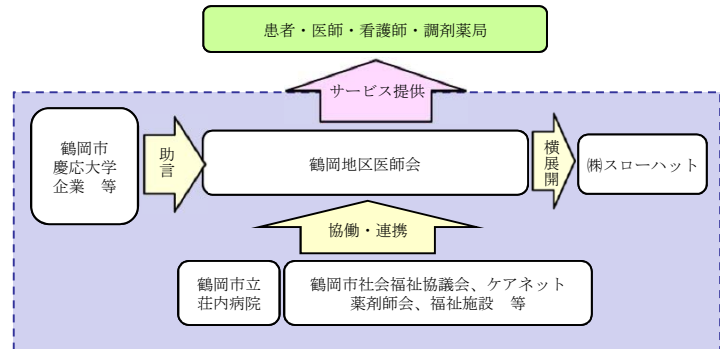
■ 本システム導入の概算費用(実績ベース)

- ・導入費用：約7,500万円
内訳：システム開発・構築費5,500万円、機器等(Web会議機器)2,000万円
- ・運用費用：約600万円/年
内訳：システム保守費、機器リース費

※現在、本システムはパッケージ化され低価格化が図れる可能性もありますので、新規に導入する場合の費用等については次頁の問合せ先にご相談下さい。

事業実施体制・運営状況

1. 鶴岡医師会を中心として、社会福祉協議会、ケアネット、薬剤師会等と連携し普及を進め、特に効率化を必要とする訪問看護ステーション、介護施設、リハビリセンタ等の末端医療機関の医療従事者に定着し、地域医療連携を実現している。
2. 本事業でオープンソース化した「Net4U」の横展開については地元ベンダーが担い、その収益を各種公益事業の運営、人材育成等に活用している。



ICT活用の3要素:「つなげる力」「見える化力」「横串を通す力」から見る、本事業の特徴・差別化要素

つなげる力	■ 地域内の病院、診療所、訪問看護ステーション、調剤薬局、介護事業所等が患者の情報を共有することができ、患者・家族・医療に携わる多職種間の連携が効率的且つスムーズに行われている。 ■ 一人の患者に対して多職種間それぞれの立場での評価・治療方針等に関するコミュニケーションがシステムを通して活発化している。
見える化力	■ カルテ及び複数機関の検査結果の共有だけでなく、日々の進捗で気になる事項をメモで書き残し関係者間で共有することもできるため、患者の引き継ぎ等がスムーズに行われる。 ■ 医療機関だけでなく、患者を支える家族も情報が共有されている。 ■ 診療情報を共有することで薬の重複投与、重複検査の低減が図れた。
横串を通す力	■ 地域でより良い医療を目指そうという理念とその実現のために本事業があることを医師会を中心とした医療関係者に共有されている。 ■ 多職種間の情報共有だけでなく、バーチャルなディスカッションの場を提供することで、多職種間で治療方針を議論・熟成し、同じ方針で患者に向き合える。 ■ 販売の水平分業により、鶴岡地区に留まらず医療・介護の連携強化を課題とする他の地域へ導入することが可能となっている。

事業の成果（アウトカム／アウトプット）

- 現在、鶴岡地区においては、在宅医師・病院専門医・ケアマネジャー・訪問看護師・調剤薬局薬剤師等の多職種が患者情報を共有し、地域内における多施設での治療・ケアの実践支援ツールとして普及する一方、山形県庄内の2次医療圏をカバーする「ちようかいネット」に参加し、庄内医療圏での「Net4U」の活用も期待されている。

当システムの 利用件数の推移	H25上期 (4-9月)	H25下期 (10-3月)	H26上期 (4-9月)
月間平均利用件数	7,342件	6,781件	7,700件



ケアマネさん等は驚く程足繁く利用者を訪問し主治医が知らない沢山の情報を教えてくれて大変助かってます。

一鶴岡地区医師会
三原先生

今後の展望

- 他の地域への横展開を積極的に促進する。
 - 「Net4U」が継続運用される要因として、医師会自体が地域の医療・介護資源の多くを担う社会的・経済的基盤と、推進役となるリーダーとそれを支える志の高い人材等が影響するため、システムの良し悪しで判断するのではなく、その地域特性を考慮する必要があるため鶴岡地区医師会が、横展開に積極的に関与を行いたい

<実施団体の横顔>



<本件に関する問い合わせ先、導入検討・視察の相談等>
一般社団法人鶴岡地区医師会 地域医療連携室
電話：0235-29-3021

担当者E-mail: kendo[atmark]tsuruoka-med.jp

※スパム対策としてメールアドレスを一部変更して記載してあります。
eメールを御送付の際は、「[atmark]」を「@」に変えてご利用ください。

所在地：〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町1-34